

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL：03-5253-8111 内線42353

アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成20年1月23日

| | | | |
|--------------------------------|--|---|------------|
| リコール届出番号 | 外-1455 | リコール開始日 | 平成20年1月24日 |
| 届出者の氏名又は名称 | フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社 代表取締役 梅野 勉 | 製作国：ドイツ連邦共和国 製作者名：フォルクスワーゲン株式会社 問い合わせ先：フォルクスワーゲン カスタマー センター (フリーダイヤル)0120-993-199 (アドレス) http://www.volkswagen.co.jp/ | |
| 不具合の部位 (部品名) | 電気装置 (制動灯スイッチ) | | |
| 不具合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | 制動灯スイッチ内部の接点が不適切なため、制動装置作動時に接点が焼き付き、焼損または熱変形する場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、制動灯が点灯したままの状態、または、制動灯が点灯しなくなる状態となり、シフトレバーが操作できないおそれがある。 | | |
| 改善措置の内容 | 全車両、制動灯スイッチを対策品と交換する。 | | |
| 不 具 合 件 数 | 20件 | 事故の有無 | 0件 |
| 発 見 の 動 機 | 市場からの情報による。 | | |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・対策実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-1455ステッカーを貼付する。 | | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車両の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間 | リコール対象車両の台数 | 備考 |
|-----------|----------|---------|--|-------------|----|
| フォルクスワーゲン | 不明 | VWルポ1.4 | WVWZZZ6XZ2B006761 ~ WVWZZZ6XZ3B000011 平成13年9月20日～平成14年3月18日 | 2 | |
| | | | WVWZZZ6XZ2W000044 ~ WVWZZZ6XZ2W000814 平成13年5月13日～平成13年5月23日 | 12 | |
| | | VWルポGTI | WVWZZZ6EZ3W000045 ~ WVWZZZ6EZ3W001441 平成14年7月19日～平成14年9月25日 | 2 | |
| | GF-6XAUA | VWルポ1.4 | WVWZZZ6XZ2B000353 ~ WVWZZZ6XZ2B063900 平成13年11月7日～平成14年6月7日 | 4,610 | |
| | | | WVWZZZ6XZ2W000026 ~ WVWZZZ6XZ2W001431 平成13年4月6日～平成13年11月21日 | 1,239 | |
| | GH-6XBBY | VWルポ1.4 | WVWZZZ6XZ3B000040 ~ WVWZZZ6XZ6B000444 平成14年6月3日～平成17年8月28日 | 7,602 | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車両の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間 | リコール対象車両の台数 | 備考 |
|-----------|----------|---------|--|-------------|----|
| フォルクスワーゲン | GH-6EAVY | VWルポGTI | WVWZZZ6EZ3W002053 ~ WVWZZZ6EZ4W000704 平成15年1月6日～平成16年8月19日 | 578 | |
| | | | WVWZZZ6EZ4B000347 ~ WVWZZZ6EZ6B000217 平成16年2月24日～平成17年8月29日 | 1,420 | |
| | 計3型式 | 計2車種 | 輸入期間の範囲 平成13年4月6日～平成17年8月29日 | 15,465 | |

(備考) 本件は、同不具合に対して平成19年11月15日付け「届出番号 外-1440」にて届出を行っているが、追加車種に対して新たに届出を行うものである。

VOLKSWAGEN Group Japan KK

改善箇所説明図



不具合発生箇所

制動灯スイッチ内部の接点が不適切なため、制動装置作動時に接点が焼き付き、焼損または熱変形する場合があります。そのため、そのまま使用を続けると、制動灯が点灯したままの状態、または、制動灯が点灯しなくなる状態となり、シフトレバーが操作できないおそれがある。

改善内容

全車両、制動灯スイッチを対策品と交換する。

識別： キャンペーンステッカーに「94D1、日付（西暦・月・日の順）、ワークショップスタンプ」を記入し、スペアタイヤ収納部左側面に張付ける。

